

流量計算書の見方について

- ・本流量計算書の雨水量 Q の算定方法を以下に示す。

下水道流量計算表（現況1.10）

管記号	下流側 管記号	排 水 面 積		延 長		流 速 時 間	雨 水 流 出 量					汚 水 流 出 量			その他水量		総水量	
		各 線	通 加	各 線	最 長		ペナル 当たり 降水量	流出 係数	雨水換算面積		雨水量	人口 密度	人 口		汚水量	各 線		通 加
									各 線	通 加			各線	通 加				
ha	ha	m	m	min	m³/sec・ha		ha	ha	m³/sec	人/ha	人	人	m³/sec	m³/sec	m³/sec	m³/sec		
L 1001	L 1003	A 019	019	57	57	8.0	I/360 04040	C 065	A' 018	018	Q 00509	(余裕率3325%)					00509	

P		1
※流出係数の代表値：0.70 C'		
高	土かぶり	備考
600		既設、伊左座
400		

計画雨水量算定式： $Q = (1/360) \cdot C \cdot I \cdot A$

（Q：雨水量、C：流出係数、I：降雨強度公式、A：面積、）

通常、計画雨水量算定式は上記式によって求められるが、

本流量計算書では、システムの都合上、以下のように流出係数の代表値を用いて計画雨水量を算定している。

$$Q = (1/360) \cdot C \cdot I \cdot A$$

$$= (I/360) \cdot C \cdot A$$

$$= (I/360) \cdot C' \cdot A \cdot (C/C') = A'$$

$$= (I/360) \cdot C' \cdot A'$$

（C'：流出係数の代表値、A'：雨水換算面積）

※管記号 L1001 の場合の A' の算出方法

$$A' = A \cdot (C/C')$$

$$= 0.19 \times (0.65/0.70)$$

$$= 0.176428 \dots$$

$$\approx 0.18$$